

世の中乃流行るや上方狂言の小刀細工を関東で焼く江戸  
 荒変は太刀を都方で喜び若女形が敵役のまごころで想を  
 なるを敬をとり実支師が女形の和らぎで大當をとるがごとく  
 新手中のまごころを光景とこれを新内節も世にふりて  
 一仲節時を得れを操芝居小屋敷乃大仕掛工事も吉田が早  
 愛小珍らき狂言の怖色と穿てを劇芝居小忠臣藏乃ふりて  
 たの神を長谷川が新幕無ふ人機と奪つとちかめさるる  
 喝采千萬声のかであり年と春毎形のうらぬ合巻も夢を  
 時の流ゆ昨日乃水滸も今日乃源氏小御女中方は清がうらぬ  
 皆とく白表紙時に大高段取をいづく種の色が第一さうして  
 柳ふやうもんまその真似言のむぐりくたを新色と焼耐火まわして



吉田  
 大高段取  
 白表紙  
 新色と焼耐火



この巴の初めを... 宗全が頼る... 正公両家... 音川の奥方... 証の前



若君

この巴の初めを... 宗全が頼る... 正公両家... 音川の奥方... 証の前

喜代若丸



山名の家臣 高岡 文藏

この巴の初めを... 宗全が頼る... 正公両家... 音川の奥方... 証の前

この巴の初めを... 宗全が頼る... 正公両家... 音川の奥方... 証の前

住江玉の井  
乃屋の



音川の長  
舟瀬三平

悪漢  
矢田七



華之松











つぎ まさひらきまはら君をくまひをく  
らぬのてし一ゆがてびきせりしゆら  
あん四のうひわいけいひのあひんと  
ひひの巴のゆふちむひあるとあふ  
うねて舟せ三平とそれをがふ  
ひひめめ一をさのひ一昨日



らら  
らびれいんごうりんま  
なとあういんごうて昔川の  
本ごご一ゆがてををさるあん  
ありかひのあひいんごうま  
あんのねがひんごうま  
あまんがあゆま

▲左

あひのねをまがちがらうあむれ  
うこの代をうの世なんの  
まろりまらあゆのてのあむれ  
うごのあむれ

まはれて  
あひの  
まはれて  
あひの  
まはれて  
あひの

あひのねがひんごうま  
あまんがあゆま  
あひのねがひんごうま  
あまんがあゆま  
あひのねがひんごうま  
あまんがあゆま  
あひのねがひんごうま  
あまんがあゆま



○目もまんろがで矢田七がどの  
あをまゆりつゆげんがわい  
あひのねがひんごうま  
あまんがあゆま  
あひのねがひんごうま  
あまんがあゆま

まはれて  
あひの  
まはれて  
あひの  
まはれて  
あひの

華之果





式亭小三馬作  
歌川國貞画

前編二冊早に拙作意をう  
後編二冊の正卒の怪を  
写一文とてあつた  
語を累々しく  
くみり  
○この画の  
ほびふあり

家製薬品目録

江戸本町三丁目  
北側中程 式亭三馬

○吉例正月二日より松之内

江戸のろ

大箱 箱入のろ  
中箱 箱入のろ  
小箱 箱入のろ  
百五十文 箱入のろ  
百文 箱入のろ  
五十文 箱入のろ

蘭奢袋

雪の友 金  
月の眺 金  
花の宴 金  
百五十文  
百文  
五十文

金勢丸

酒の解とよ  
酒とよのほむかろく  
酒とよのほむかろく  
酒とよのほむかろく  
酒とよのほむかろく  
酒とよのほむかろく

薄化粧

薄化粧の薬  
薄化粧の薬  
薄化粧の薬  
薄化粧の薬  
薄化粧の薬  
薄化粧の薬

月あつたてと流す名方  
 とといめんせぬ妙業

天女丸

月へのけの流す名方  
 ひくくやくやくと流す名方  
 とといめんせぬ妙業

正銘おやう  
 箱入御入みぐ矢

少袋三十二文  
 大袋五十文

あやぐの黒薬

小包五十文  
 大袋百文

伊吹山  
 九年晒御薬ももこと

他家無類製法  
 千挺入五十文  
 五百挺二百文

經驗  
 良薬

婦人萬病飲

小児百日せの奇薬代百文

けそくふり  
 五十文  
 二百文

月水不順を治す名方  
 月水不順を治す名方

る天女丸

壹包百廿四文

月へのけの流す名方  
 ひくくやくやくと流す名方  
 とといめんせぬ妙業

本家江戸本町二丁目

中野

式亭三馬製

式亭三馬製



小三馬作  
國貞画







此の日の... 京師... 昔... 唐... 武人...



甘... 中... 平... 唐... 武... 唐... 世... 巴... 宮...





Handwritten text in the top section of the right page, consisting of several lines of cursive script.

Handwritten text in the middle section of the right page, continuing the cursive script.

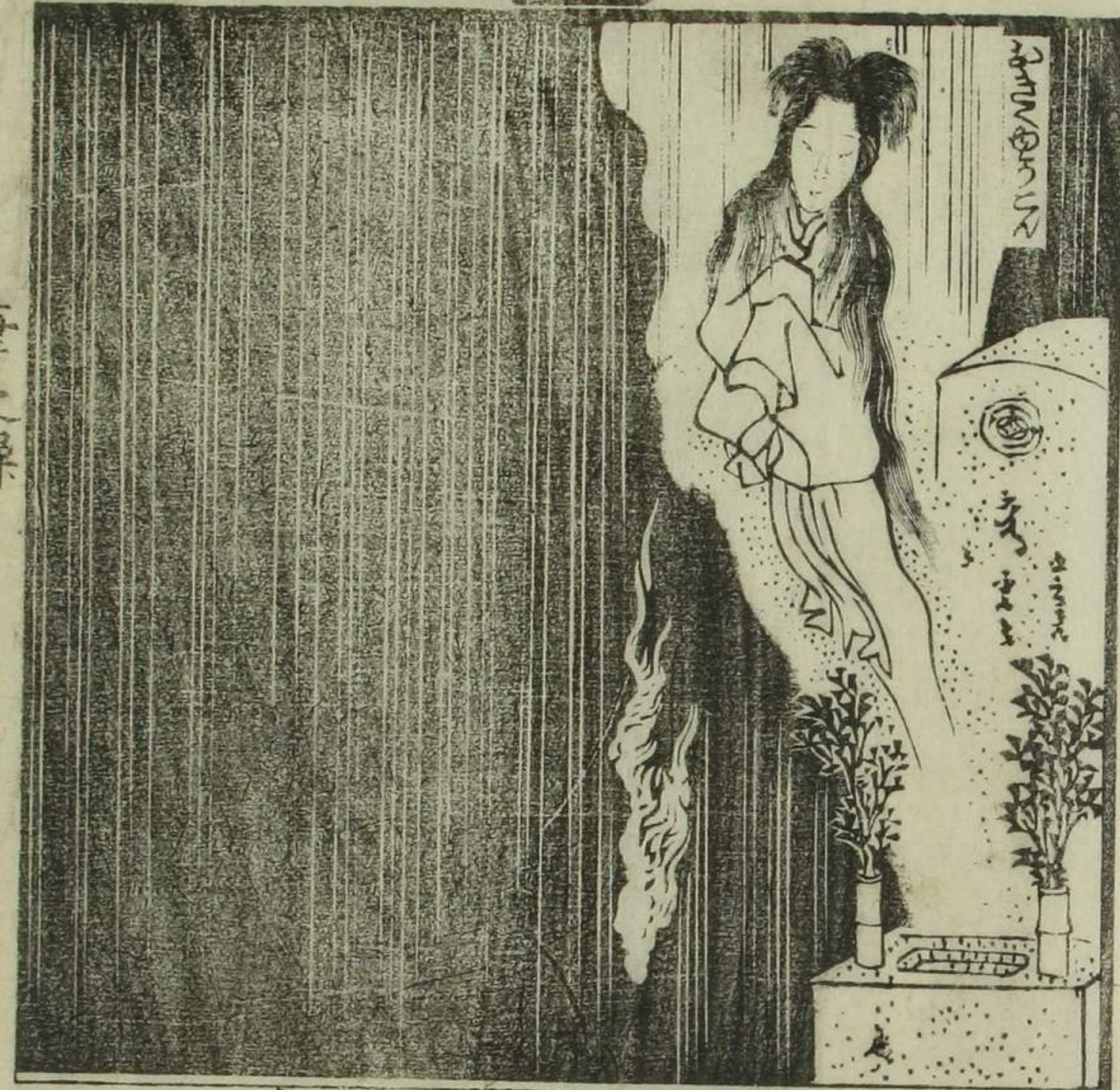
Handwritten text in the bottom section of the right page, including a small boxed section at the end.

Handwritten text in the top section of the left page, consisting of several lines of cursive script.

Handwritten text in the middle section of the left page, continuing the cursive script.

Handwritten text in the bottom section of the left page, including a small boxed section at the end.





雨の夜

あまのこ

雨の夜

六



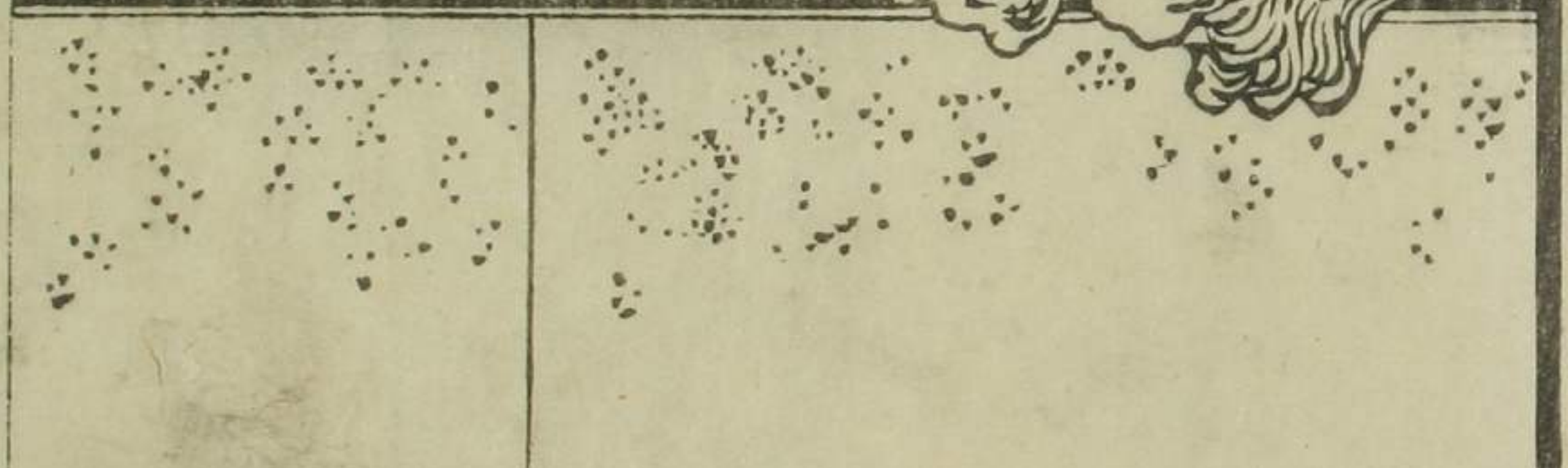
雨の夜

華之揚

五

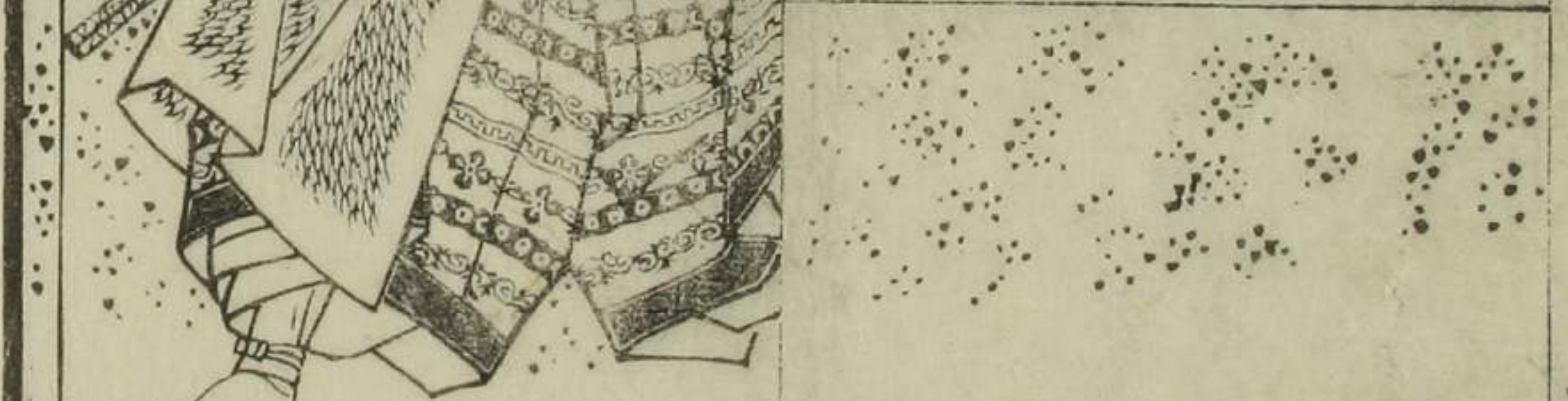


144 a look



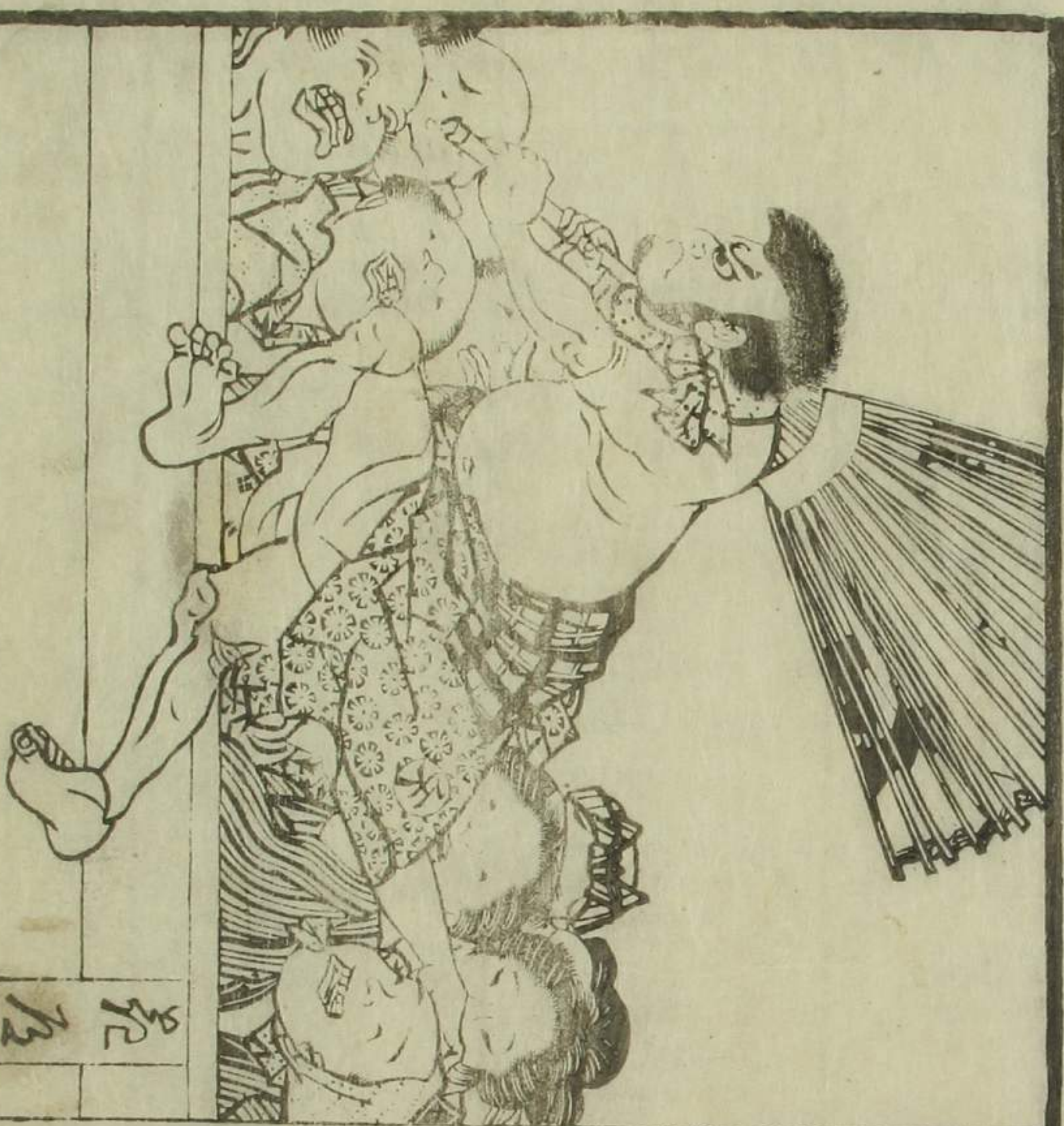
145 a look

145 a look



145 a look





花屋

花屋の主人は、  
 子供を呼んで、  
 扇を扇いで、  
 涼しくさせる。  
 子供は、  
 嬉しそうに、  
 扇を扇いで、  
 涼しくする。  
 花屋の主人は、  
 子供を呼んで、  
 扇を扇いで、  
 涼しくさせる。  
 子供は、  
 嬉しそうに、  
 扇を扇いで、  
 涼しくする。

花屋

花屋の主人は、  
 子供を呼んで、  
 扇を扇いで、  
 涼しくさせる。  
 子供は、  
 嬉しそうに、  
 扇を扇いで、  
 涼しくする。  
 花屋の主人は、  
 子供を呼んで、  
 扇を扇いで、  
 涼しくさせる。  
 子供は、  
 嬉しそうに、  
 扇を扇いで、  
 涼しくする。

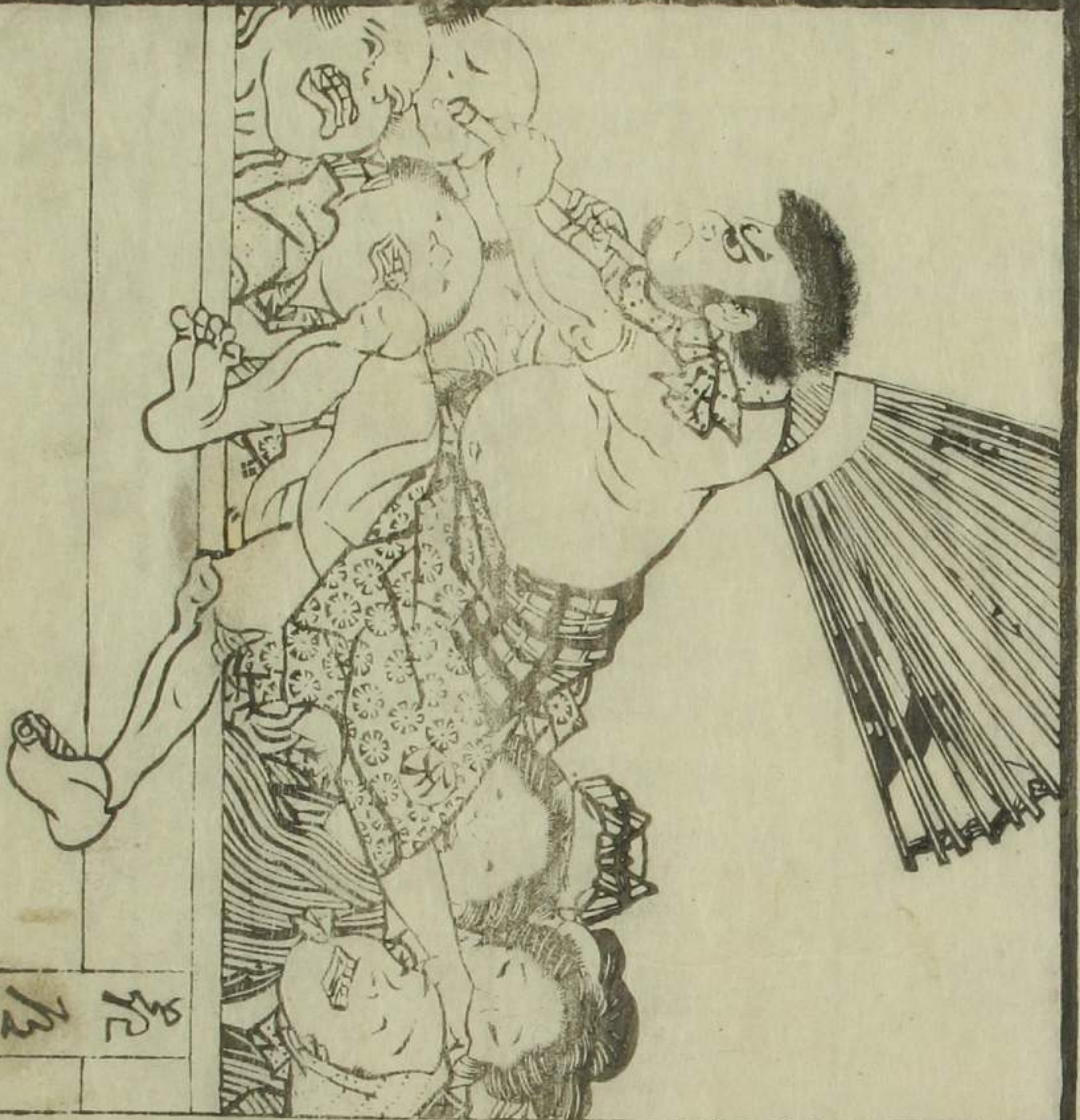


魚屋

魚屋



Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a commentary or a story related to the illustration. The text is written in a cursive style.



花屋

Handwritten Japanese text in vertical columns, continuing the commentary or story from the previous page. The text is written in a cursive style.











# 歌川國貞画の式亭小三馬撰

此の世にても知られぬはまこと  
 ひびきのこまわしにまきのこまわし  
 名ふはみふ川山名かいあらんに  
 名ふはみふ川山名かいあらんに  
 名ふはみふ川山名かいあらんに  
 名ふはみふ川山名かいあらんに  
 名ふはみふ川山名かいあらんに

兵部上

此の世にても知られぬはまこと  
 ひびきのこまわしにまきのこまわし  
 名ふはみふ川山名かいあらんに  
 名ふはみふ川山名かいあらんに  
 名ふはみふ川山名かいあらんに  
 名ふはみふ川山名かいあらんに  
 名ふはみふ川山名かいあらんに



此の世にても知られぬはまこと  
 ひびきのこまわしにまきのこまわし  
 名ふはみふ川山名かいあらんに  
 名ふはみふ川山名かいあらんに  
 名ふはみふ川山名かいあらんに  
 名ふはみふ川山名かいあらんに  
 名ふはみふ川山名かいあらんに

## 式亭家製薬品目録二枚の内

本家江戸本町二丁目

向長のおうしんせ

式亭三馬製



### 百江戸の名

大箱代二百文

中箱代百文

小箱代五十文

徳利代二百文

御願の吾妻香

桐 夜五ト

たし入 百五十文 百文 五十文 三十二文

別製 御考押る

御懐中 ねぼまぬの 果げしゅう 代 五十文

此の世にても知られぬはまこと  
 ひびきのこまわしにまきのこまわし  
 名ふはみふ川山名かいあらんに  
 名ふはみふ川山名かいあらんに  
 名ふはみふ川山名かいあらんに  
 名ふはみふ川山名かいあらんに  
 名ふはみふ川山名かいあらんに

式亭家製

仙人參郎効油

あざり薬 一貝 五十文 半貝 廿四文

引風子夜抄

四季あげん 一點代廿八文

引風子夜抄のちせんとせつて月夜に... 即効あり

御ふれこ 百文 三十二文 廿四文 十六文

青龍圓

一包代六十文

小兜抄をえ... 大粒小粒 兩極あり

天保七申新春新刻目録

東海道五拾三驛

前編 鶴屋南北作 後編 歌川國芳画

千本櫻後日仇討

聖川亭雪麿作 全四冊 式亭小三馬作

菊壽童三編

山東庵京山作 全六冊 浦里操 式亭小三馬作

夜討曾我人形製

三亭夫馬作 後編六冊 土筆長日 墨川亭雪麿作

新茶 義艶仙女香 南馬町 坂本氏

地本問屋

芳町親仁橋角 山本平吉板

